


分野	21	保健・医療	<b>通番 30</b>
施策	211	健康づくりの促進	
<b>5年後の目標</b>		「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>健康づくり教育事業</b>		会計	款	項	233,310	健康医療推進室
			一般	4	1		
事業の概要							
「自分の健康は自分で守る」という意識と行動の浸透のため、生活習慣病や要介護状態の予防等の知識の普及を図り、健康意識を高めます。市民全体へのポピュレーションアプローチ及び個々への動機づけとなるよう従来の健康教育に、更に情報発信の方法や内容の工夫を行い、市民の健康増進に努めます。							


平成30年度の取組							
D (取組)	指標	健康づくり啓発事業の参加者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	7,100 (平成26年度)	目標	7,100	7,100	12,000	12,000	12,000
		実績	12,359	14,442	13,792		
	指標	広報・ホームページ等による健康情報の配信回数				単位	回
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	22(平成26年度)	目標	23	24	25	26	27
		実績	25	28	27		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康運動指導士、医師、保健師によるながおかきょう健康塾「簡単エクササイズセミナー」「血管イキイキ講座」「骨コツ測定会」を開催し、254人が参加しました。</li> <li>肺がん検診実施日に、「血管年齢測定会」を2日間同時開催し、253人が参加しました。</li> <li>若い世代の人も集まる既存の地域の集まりや小学校PTA行事、体育協会のイベントへ出向き、延べ338人に血管年齢測定や骨密度測定等を行い、健康情報の発信、検診等の啓発を行いました(まちの保健室)。</li> <li>市役所庁舎、保健センターの階段に健康づくり啓発として階段アートで、市民に健康情報の発信をしました。</li> <li>広報、ホームページ、検診会場、乳幼児健康診査などあらゆる機会を活用して、健康づくりについて情報発信を行いました。</li> </ul>						
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		健康寿命	健康寿命(健康な状態で生存する期間)は伸びていますが、不健康な期間も延伸しています。	196
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況 ・既存の地域の集まりやイベント、集団がん検診、母子保健活動関連の事業や訪問等の機会を通じて、市民へ対面で健康情報の発信やがん検診等の啓発を行った結果、健康づくり啓発事業の参加者数は目標数を上回りました。 ・計画的に広報、ホームページ等で健康情報の配信をし、配信回数も目標数を上回りました。	
課題等	今後、当室の既存の事業ではアプローチできない層を含め、健康づくりに無関心な層へ健康情報を発信できる機会を作っていく必要があります。			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康無関心層にも、健康に関する情報を広く発信していくために、若い世代も含め様々な世代が集まるイベントや地域の集まりに出向き、測定会等を実施し、自分の健康に意識を向けてもらう機会を増やし、積極的に保健指導、健康に関する情報提供等を行っていきます。</li> <li>健診等の個別通知の機会に、健康に関するちらしを同封し、健康情報の発信を積極的に行っていきます。</li> </ul>

分野	21	保健・医療	<b>通番 31</b>
施策	211	健康づくりの促進	
<b>5年後の目標</b>		「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>成老人健康診査・がん検診事業</b>		会計	款	項	63,151,269	健康医療推進室
			一般	4	1		
事業の概要							
<p>健診・検診の受診勧奨やがん予防及び疾病予防の啓発を実施します。          国や京都府との連携や受診体制の更なる充実を図り、新たな健診・検診受診者の増加や定着を促進します。          また、歯科口腔を健康に保ち生活習慣病予防につなげるために、歯周疾患検診等の充実を図ります。</p>							

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	大腸がん検診受診率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	23.1(平成26年度)	目標	23.5	24.0	24.5	25.0	25.0
		実績	22.6	21.1	20.2		
	指標	乳がん検診受診率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	18.9(平成26年度)	目標	19.0	20.0	22.0	23.0	25.0
		実績	19.5	18.2	18.0		
	<p>・個別通知に同封するちらし等に、がん検診の申し込みフォームへ短時間でアクセスできるようQRコードを掲載し、スマートフォン等から簡単に予約ができるようにしました。          ・若い世代の人も集まる既存の地域の集まりや小学校PTA行事、体育協会のイベントへ年間7回出向いた際に、大腸がん検診のクイズラリーを実施し、大腸がん検診に関する正しい知識を普及したり、がん検診の申し込みの受付を行いました。          ・国の「がん検診推進事業」において乳がん検診40歳、子宮がん検診20歳の対象者に検診無料クーポンを送付するほか、未受診者に対して再勧奨通知を行いました。          ・国のがん検診受診の取り組みでTV番組と連動した乳がん検診受診勧奨はがきを605人に送付し、93人(うち15.4%が初回受診)の追加申し込みがありました。</p>						
	大腸がんクイズラリーの様子						
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		健康寿命	健康寿命(健康な状態で生存する期間)は伸びていますが、不健康な期間も延伸しています。		196
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別通知の機会を増やしたり、簡単に予約できるようにちらしを改善したり、地域で市民に対面で話す機会を通じて受診勧奨したことで、目標をほぼ達成しました。</li> <li>・乳がん、子宮がん無料クーポン送付後やTV番組と連動した乳がん検診受診勧奨はがきを送付後に、今まで検診を受診したことがない層の受診が増加しました。</li> </ul>	
課題等	・健康づくり無関心層に、検診の受診勧奨を行う機会を増やし、受診者をさらに増やしていくことが課題です。				

目標達成に向けての次年度以降の対応					
A (行動)	<table border="1"> <tr> <th>方向性</th> <th>対応策等</th> </tr> <tr> <td>1: 計画通りに進めることが適当</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が集まる既存のイベント等に出向き、市民に対面で受診勧奨をする機会を増やします。</li> <li>・検診の申し込みが手軽に短時間でできるよう、がん検診の案内の文書には引き続きQRコードを掲載していきます。また、その方法が市民に十分周知されるよう、地域で市民に対面で話す機会を通じて、情報発信していきます。</li> </ul> </td> </tr> </table>	方向性	対応策等	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が集まる既存のイベント等に出向き、市民に対面で受診勧奨をする機会を増やします。</li> <li>・検診の申し込みが手軽に短時間でできるよう、がん検診の案内の文書には引き続きQRコードを掲載していきます。また、その方法が市民に十分周知されるよう、地域で市民に対面で話す機会を通じて、情報発信していきます。</li> </ul>
方向性	対応策等				
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が集まる既存のイベント等に出向き、市民に対面で受診勧奨をする機会を増やします。</li> <li>・検診の申し込みが手軽に短時間でできるよう、がん検診の案内の文書には引き続きQRコードを掲載していきます。また、その方法が市民に十分周知されるよう、地域で市民に対面で話す機会を通じて、情報発信していきます。</li> </ul>				

分野	21	保健・医療	<b>通番 32</b>
施策	211	健康づくりの促進	
<b>5年後の目標</b>		「自分の健康は自分で守る」という意識と行動が浸透し、疾病の予防と早期発見、治療につながって、市民の健康寿命が延伸している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>食育推進事業</b>		会計	款	項	-	健康医療推進室
			-	-	-		
事業の概要							
<p>家庭、保育所、学校、地域において様々な機会に、食生活と栄養についての知識の普及及び地産地消を推進し、地域社会の活性化、豊かな食文化の継承に取り組み、第2次食育推進計画に従って事業を推進します。</p> <p>また、長岡京市食育推進委員会の構成団体を増やします。</p>							

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	市内小学6年生の朝食欠食率				単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
		目標	2.1	1.6	1.1	0.5	0
	2.8(平成26年度)	実績	2.7	4.1	3.0		
<p>・「学べる食育ひろば」として、11月19日(月)に市立保健センターにて、食環境と脳の発達に関する講演会を開催しました。子育て世代89名が来場し、大変好評でした。会場では、保育園での食育の取り組み及び食育関連団体であるフードバンク長岡京の活動紹介を展示しました。</p> <p>・「体験できる食育ひろば」として、「歯のひろば」や「長岡京ガラシャ祭2018」等7つのイベント会場にて、食育ブースを出店し、計586人が来場しました。食品に含まれる糖質量の展示や、食品の3色分類シール遊び、野菜の切りロクイズ、郷土料理のパズル、地元特産品や郷土料理のパネル展示等、来場者層に合わせ、楽しく食育を体験できる内容を実施しました。</p> <p>・食育の推進と心身の健康増進を図るため、各種健康教室や給食だより等を通じて、ライフステージに応じた食生活と栄養についての知識の普及啓発を行いました。</p>							

食品に含まれる糖質量の展示

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成30年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁
	健康寿命	健康寿命(健康な状態で生存する期間)は伸びていますが、不健康な期間も延伸しています。		
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<p>・朝食の欠食率については、昨年度より改善したものの、ライフスタイルの多様化により、朝食に対する食欲や食事時間がなくなりがちであり、目標は達成できませんでした。</p> <p>・学べる食育ひろばにおいて、朝食を含む食環境の大切さについての講演会を開催し、子育て世代への啓発ができました。体験できる食育ひろばでは、出店イベント数を昨年度の2回から今年度は7回へと増加させ、昨年度より多くの市民に食育の啓発を行うことができました。</p> <p>・食育ワーキング会議や食育推進委員会を中心に、地域の地産地消推進協議会や生活改善クラブ等の団体、京都府(乙訓保健所、京都乙訓農業改良普及センター)、庁内各課と連携・協働して食育の推進を行いました。</p>	
	課題等	<p>・小学生の朝食欠食理由として、多くの研究では「時間がない」「食欲がない」が大半を占めています。その要因として、就寝時刻との関連があるとされており、塾通い、テレビやスマートフォンの視聴等、就寝時刻が遅くなる要因への対策・啓発が必要です。</p> <p>・上記に次ぐ欠食理由は「朝ごはんがない」です。国民健康栄養調査によると、小学生の親世代である40代の朝食欠食率は増加しており、30代・40代とも朝食欠食率は男性で約25%、女性で約15%です。保護者が朝食を食べない家庭は、子どもの朝食が用意されていないまたは食べない習慣がある可能性が高いと考えられるため、親世代への啓発も必要です。</p>		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
2: 進め方の改善の検討が必要	<p>・今後も食に関わる関係団体や、庁内各課と連携・協働し、食育を推進します。</p> <p>・食育ひろば等の際には、朝食の大切さだけでなく、朝食欠食要因に視点を置いた情報を発信します。</p>